

単元名 やぶいた かたちから うまれたよ(絵)

配当時間 4時間

単元の目標 (1) 破いてできる紙のいろいろな形を見付け、置き方やかき方を工夫して絵に表すことができる。  
(2) 破いた紙の形から表したいことを思い付くとともに、自分や友達の絵を見ながら、表し方の工夫を見付けることができる。  
(3) 破いた紙の見方や置き方、組み合わせ方を工夫するなどして、絵に表す面白さを味わおうとする。

### 標準的な展開例

01080104\_001

【準備等】画用紙、色画用紙、色紙、共同絵の具、パス、クレヨン、サインペン、はさみ、のり、新聞紙、包装紙、クラフト紙 など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 紙を破ったり切ったりして形をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○使ってみたい紙を選び、手でいろいろな形に破る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゆっくり破る。</li> <li>・ 指先でつまみながら複雑に破く。</li> <li>・ いろいろな向きに破く。</li> <li>・ 長く破く。</li> </ul> </li> </ul> <p>★紙の形から、思い付いたことを絵に表そう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○破いた紙の置き方をいろいろ試しながら形や見え方の違いを見付け、発想を広げて見立てをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きな恐竜みたい。</li> <li>・ ウサギの顔に見えるよ。</li> </ul> </li> </ul> <p>2～4 見立てで選んだ形から、思い付いたことを絵にかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○表したい絵になるように、選んだ紙をのりで台紙に貼り付ける。</li> <li>○表したいことのイメージを広げながら思い付いたことを加え表す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 汽車の線路</li> <li>・ 虹や雲</li> <li>・ 木やお花</li> <li>・ ハートや星</li> <li>・ 昆布やわかめ</li> <li>・ 自分や友達</li> </ul> </li> <li>○作品を見ながら、見付けた形から思い付いたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙を組み合わせた形がいいね。</li> <li>・ キリンの縞模様にするために紙を重ねて貼っていて、面白いね。</li> <li>・ 新聞紙を山にしているいいね。</li> <li>・ 大きくつくっていて、かっこいいね。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書1・2上 P.16, 17</li> <li>・ 教科書を参考に、紙をそつと破いたりいろいろな形に破いたりする活動を勧める。</li> <li>・ 目をつむって紙をちぎったり、二つに折って重ねて切ったりして、偶然にできる形をつくる。</li> <li>・ 「破いたらどんな感じがするかな」「どんな音がするかな」などと声掛けをすることで、体の感覚を働かせながら破るように促す。</li> <li>・ つくった形を1カ所に集め共同で使ってもよい。</li> <li>・ 最初は教師が形を選び、何に見えるか児童に発表させ、見立ての方法を説明する。</li> <li>・ いろいろな形の紙で試しながら組み合わせを変えることで、新しい形や絵ができることに気付かせる。</li> <li>【評】作品を通して、破いてできる紙から表したいことを思い付く「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・ 教科書P.65を参考にして、のりの基本的な使い方について指導する。</li> <li>・ 紙を貼った時点で、みんなで見せ合い、交流する場を設けてもよい。</li> <li>・ 絵の具やパス、クレヨンを使って、思い付いたことをかき加えたり、紙を貼り足したりして、どこで何をしているかが分かるようにかかせる。</li> <li>・ 思いが広がってきたら、新たな形をかき加えさせる。</li> <li>・ 友達の作品から面白い形や表したいことについて伝え合い、自分のイメージを広める時間を設ける。</li> <li>【評】見立てで選んだ形から思い付いたことを絵に表す活動を通して、思い付いたことを膨らませて形や色を工夫して表す「知識・技能」を評価する。</li> <li>・ できた作品に題名を付け、見せ合う。</li> <li>・ 友達の発想のよさに気付かせる。</li> <li>・ 児童の気付きを受け止めながら、紙の形の面白さや形の組み合わせ方の面白さ、色づかいの工夫などに着目できるよう声掛けをする。</li> <li>【評】自分や友達の作品を見合う活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>【評】これまでの学習活動や作品を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>

【 備 考 】